

## 令和2年度

### 第2回草津市地域福祉推進市民委員会 会議録

#### ■日時

令和2年8月5日（水）13時30分～15時20分

#### ■場所

草津市役所5階 502会議室

#### ■出席委員

清水委員、山元委員、黒川委員、諏訪委員、奥井委員、柴田委員、大西委員、竹村委員、中嶋委員、岡田委員

#### ■欠席委員

佐藤委員、北村委員、山本委員、中野委員、井上委員

#### ■事務局

【健康福祉部】増田部長、田中総括副部長、永池副部長、江南副部長

【健康福祉政策課】岸本課長、田村係長、西村主査

【子ども未来部】河合総括副部長

【危機管理課】新庄課長補佐

【草津市社会福祉協議会】高津主事

#### ■傍聴者

0名

### 1. 開会

---

#### 【増田健康福祉部長】

草津市健康福祉部の増田でございます。

日頃は、市政の推進、とりわけ地域福祉の推進に格別の御理解と御協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。また委員の皆様には、公私ともお忙しい中、当委員会に御出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今の少子高齢化、核家族やひとり暮らしの増加、ライフスタイルの多様性等により、地域社会をとりまく福祉課題はますます複雑化しております。さらに今年新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が停滞し、経営の不振や収入の減少など、生活基盤を揺るがす事態が生じており、経済面にとどまらず様々な生活課題も新た

に生じているところでございます。

こうした中、地域福祉を推進する上での理念や、方向性を定めた現行の第3期草津市地域福祉計画が今年度末をもって計画期間が満了することから、現在これに続く第4期計画の策定を行うべく現行計画の評価やアンケート調査、ワークショップなどを実施しながら計画策定に向けた作業を現在進めております。

本日は、この次期計画に向けて次第にございます3つの議題を審議賜りたく、それぞれの議題について事務局より説明をさせていただき、委員の皆様にご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 【事務局】

<傍聴者について報告>

<新任委員紹介、事務局の紹介>

<草津市付属機関運営規則に基づき、委員会が成立していることを報告>

## 2. 議事

---

### (1) 第4期草津市地域福祉計画策定に向けたアンケートの調査結果

#### 【事務局】

資料1-1をもとに説明。

#### 【委員】

アンケートの配布先は、対象の各団体の役員全員ではないのですか。

#### 【事務局】

団体のうち全員ではなく、まちづくり協議会会長や学区社協会長といった関係団体の代表者などへ配布を行い、アンケート調査を実施しました。

#### 【委員】

民生委員の立場から見て、やはり役員の高齢化や人材の育成という課題が残っていると思います。こうしたことに関しては、どのような施策が講じられるのでしょうか。

もう一点が、以前から言われている「30歳代40歳代の働き盛り」の概念をどう捉えるかということで、我々の年代から見ると、30歳代40歳代の概念が肉体的なのか精神的なのかいろいろな意味で混在しているので、どういう捉え方をすべきでしょうか。

#### 【事務局】

民生委員を中心とした担い手の方の年齢については、今担っている方が高齢になってきているという状況があります。できるだけ、民生委員など担い手に関する取組内容の周知を行うこと、また、市社会福祉協議会の方では、福祉教養大学等を通して様々な福祉教養講座をしていただいています。地道にそういったシステムを作って、福祉の担い

手の育成、広報、啓発をしながら、次代を担う方に少しでも関心を持っていただき、協力いただければと思っております。

30歳代40歳代の働き盛りという言葉や定義については、以前と今では社会構造や雇用の形態も変わっていて、一概に働き盛りという言葉の定義がぴったりと合うかというところの問題はあるものの、長らくこの表現が使われているものと思います。ただ、言葉の定義等については、国や社会情勢等の動向を見ながら確認をしていく必要があるものと考えております。

#### 【委員】

調査の結果で、年齢層が書かれているが65歳より上が多いようです。対象になっている団体やその方達は年齢から見ると年齢の高い人が多く、結果にこれが出てきていると思います。男女でいうと、男性の方が多かったと思うので、もう少し幅広く、若年の人達にも届くようなアンケートの取り方もあると思います。

### (2) 第4期草津市地域福祉計画策定に向けたワークショップ結果

#### 【事務局】

資料2-1をもとに説明。

#### 【委員】

ひきこもりの相談で、労働相談を少しやっておりますが、母親から電話があり、ダブルワークをしている中で、大学を中退した子どもがひきこもっているというケースがありました。母親といろいろな話をした中で、きっかけは子どもが大学受験で失敗したということが引き金になっていて、その時、父親から虐待的な暴言があったことがそもそもの原因になったというものです。こういう難しい事例もあるので、資料の中にはきれいな言葉で書かれており、きれいな言葉の意見交換もそれはそれでいいですが、難しい事例もあるので、そういう点も踏まえて検討してほしいです。

#### 【事務局】

ひきこもりの問題は、ワークショップで取り上げた事例でもありますが、現実には様々な要因から簡単には解決できない事案が多くあるものと思っております。そのような中、家庭内での話し合いや、民生委員も含めて、いかに普段からの声掛け等で人間関係を作り、話を聞き出せるような関係を作っていくか、また、それぞれの相談員のスキル等も今後高めていかなければいけないものと思っております。

#### 【委員】

相談員やボランティア、民生委員などの支援者を増やす事とありますが、民生委員のなり手が少ないことやボランティアのなり手が少ないという現状があります。全国的にも民生委員のなり手が少なく、相談相手になる人がなかなかいない事が現実なので、人

材不足の観点は重要なポイントだと思います。

**【委員】**

ケアマネージャーをしています。民生委員不足や高齢化の状況の中、民生委員がいるからこそ今の地域があると私は常々思っていますので、若返りと人材の確保をお願いしたいと思います。

**【委員】**

ワンストップサービスの状況はどうでしょうか。

**【事務局】**

生活支援課の中にあつたくらしのサポートセンターが、所属として独立し「人とくらしのサポートセンター」という形で多様な課題や悩み事の相談や、関連する団体に繋ぐという形で実施しております。

(3) 第4期草津市地域福祉計画骨子案

**【事務局】**

資料3-1をもとに説明。

**【委員】**

第3期計画の考察については実績だけではなく成果もあげて、課題を示すべきではないでしょうか。また、用語については、「福祉」と「地域福祉」、「地域活動」、「福祉活動」、「地域福祉活動」などがわかりにくいです。また、「医療福祉を考える会議」を計画に記載してほしいです。計画策定の視点については、地域共生社会の実現に向けた地域福祉計画策定のガイドブックも参考にしてはどうでしょうか。「性別や年齢にとられない地域活動」という表現が気になりますが、第3期計画の表現の方がよいのではないのでしょうか。また、歳末たすけあい見舞金などの市社協の貸し付けや未来ノートも記載してはどうでしょうか。その他、第3期計画には見られなかった語句表記等については検討が必要だと思います。

**【委員】**

ワークショップにおいて、グループワークの課題に対する結果についてはしっかりと書いていただいているが、要望事項に関しては記載がないと思いました。以前に、市に問合せ際にたらい回しに合ったことについて、市の姿勢として、関係課同士の情報共有をもっと深めてもらうことや、市民の声を温かく受け入れるという部分も声としてありましたので、認識していただきたいと思います。

また、地域福祉の事を考えられる人づくりを進めるというのは分かりますが、これだけ見ていると地域でがんばってという感じに受け止めてしまいます。もちろん、市の方でも、人とくらしのサポートセンターが新しく独立しましたので、私自身もひきこもり

の男性のところへ訪問に行っている中で、来月はいつ行きますかと市の方から声をかけてくれるなど、それはとてもいい事だと思いました。少し変えていく事によって、どんどん良い方へ変わって行くと思うので、業務上の問題だけではなく、地域福祉をみんなで考えてみんなが状況を理解し、支え手の思いになれた時であれば、もっと話聞くので来て下さいという受入体制が市や地域で整っていくのではないのでしょうか。これは、地域はもちろん、まち協や学区社協にも関係しますが、忙しいながらも地域全体が努力している、という姿をめざして進めていただければと思います。

#### 【事務局】

今回は、骨子案ということで、今後肉づけしていく上で、いろいろ意見や指摘の反映をしていきたいと思います。細かいところで、語句の定義や計画自体の見せ方というのも少し工夫が必要などところもあるので、更に中身を見直し、素案に反映させていただければと思っております。

また、各委員の御意見につきましては、この計画だけではなく、お伝えいただきたいくつかのものは市役所全体の心がけや工夫や努力でカバーできる、あるいはしなければならぬところがあるものと考えますので、計画策定とは別のところであっても、市全体でそういう温かい心を持ちながら、今後みなさんの御希望に近づけるよう努力したいと考えております。

#### 【委員】

地域福祉計画なので地域だけが取り組むのではなく、行政とともに地域福祉をどう進めていくのかという事を示す計画にしてほしいです。

#### 【委員】

少子高齢化の中でどうしていくかという事で、コロナ禍と福祉をどう結びつけるのかというのが大きな起点になると思います。5年後となれば、企業倒産や就職氷河期のような時代が来る可能性があります。本当に向こう5年間で立ち直れるのか、そうした点を特に注意してほしいです。更にその中に、数値目標を検討するなど、何とか皆さんが同じようにがんばったと言える達成感が5年後に味わえるようなものを作りたいです。

#### 【委員】

コロナ禍の関連事項は検討する必要があり、草津市の中で、しっかり5年間の計画を考えていかないといけないと思います。

### 3. その他

#### 【市社協より】新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの問題が起きてから、社協で取り組んできたものとして、コロナの影響で収入が落ちた方に対して生活費を貸し付ける事業を行っております。また、フ

ードバンク事業ということで、給食センターで廃棄予定だった食品等の野菜やお肉を福祉施設などに分配しております。その他、社協の中で地域サロンの取り組み、支援をしておりますが、新型コロナの影響で開催が難しいという中、活動者と参加者をつなぐ「まごころ便」というものを実施しております。さらに、地域サロンが少しずつ再会している中で活動の支援ができないかということで、社協に寄付されたお茶や消毒液、活動に使える折り紙などを活動者の方に配り、子ども食堂にも配布し、活動をこれからも一緒にがんばろうという事で応援しております。今後、市内の福祉関係施設や児童育成クラブにも活動の中で使える物品を配布する予定です。

#### 【委員】

保護司も人が足りないので、人材を探さないといけないと考えております。また、仮釈放で出てきた方の話ですが、少し先にはなるが仕事自体は決まっています、今は仕事にはまだ就いていない状況ではあるけれど、すぐに保険証などの書類が必要だと市役所へ電話をしたけれど、上手く伝わらなかったのかも知れませんが、あまり相談を聞いてもらえなかったそうです。そういう生活状況が不安定な方などにはもう少し優しく説明するなど、丁寧な対応を職員の方にはお願いしたいと思っております。

#### 【委員】

民生委員やボランティアの方、加えて保護司も足りないという中、さらにコロナ禍で今まで携わっておられた高齢の方も外出しにくい状況になっているので、もう少し若年化を図り、若い世代にシフトしていくタイミングだと思います。子育ても一段落した40歳代後半から50歳代あたりに対して、民生委員が少ない、ボランティアが少ないという事をストレートに訴えて、やってみたいと思う方は気軽にどうぞという形で募集してみるのもいいのではないかと思います。

#### 【事務局】

広報PRにも何か工夫をして、できるだけ若い方々になり手になっていただくような手法がとれればと考えております。活動の話が多く出ておりますが、民生委員をはじめ、本日参加いただいている各地域の方でいろいろと活動いただいていることにつきましては、改めて感謝申し上げます。市だけの取り組みでは、もちろん不十分なところもありますので、今後とも引き続き御協力のほどよろしく願いいたします。

## 4. 閉会

---

#### 【事務局】

閉会にあたりまして、事務局から連絡事項です。

次回の委員会の日程は10月8日を予定しており、次回の議題につきましては「計画素案の検討」について予定しております。

なお、現委員の皆様の任期につきましては、今年度9月末までとなっておりますこと

から、次回の委員会では新委員の皆様に対する御案内となりますので、御承知おきください。よろしくお願いいたします。これにて本委員会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

以上。